

せ き ぞ う そ う と う
石 造 層 塔

●所在地／大平曾根 ●所有者／個人

高さ330cm。^{ぎょうかいがん}凝灰岩製5重の層塔で、造立当時は7重の層塔であったと思われる。軸部4面には雄渾な筆文字で^{ゆうこん}金胎両部の^{こんたいりょうぶ}種子梵字・^{しゅしぼんじ}弥陀三尊・^{みださんぞん}釈迦三尊はじめ計12の梵字が刻まれている。さらに軸部背面には造立の紀年銘が次のように刻まれている。

……真為……

建治三年丁丑八……



願主の意向等は石質が風化しているため読みとることができない。^{けんじ}建治 年(1277)の紀年銘を有する地方色豊かな鎌倉時代の遺品である。同じ紀年銘は、^{たきじ}廃寺多喜寺跡の五輪塔残欠にも残っている。